



光星8強入り

兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で行われている第105回全国高校野球選手権大会で、青森県代表の八戸学院光星は16日、3回戦で文星芸大付（栃木）に6-3で快勝し、準々決勝に進出した。光星の8強入りは2019年以来4年ぶり。（取材班）

詳報 10、11頁
関連記事 18、19頁

初回に1点を先制された光星はその裏、三つの四球を選んで1死満塁と好機を広げると、打撃好調の藤原天斗が強烈な打球を左前に運んだ。左翼手の後逸も絡んで3人が生還し、逆転

に成功した。さらに、青木虎仁の中前適時打で1点を加え、初回に4点を奪った。

四回には、西尾太晴の2打席連続となる二塁打で1点を追加。五回にも青木の適時二塁打が飛び出し、中盤にリードを広げた。

先発の2年生左腕・岡本琉葉は、伸びのある直球を主体に八回途中3失点と試合をつくった。継投した洗平比呂は好救援で無失点に抑え、粘りを見せる文星芸大付の反撃をかわした。

光星の応援団が陣取った三塁側アルプススタンドからは、チームの仲間や選手の保護者らが大きな声援を送ってナインを後押しし、勝利の喜びを分かち合った。

準々決勝は19日に行われ、光星は第2試合（午前10時35分開始予定）で土浦日大（茨城）と対戦する。

八戸学院光星の青木虎仁は5回、2死三塁の場面で適時二塁打を放ち、6-1とする=16日、阪神甲子園球場

▷ 3回戦

（栃木）					
文星芸大付	1	0	0	0	3
八学光星	4	0	0	0	6